



館長あいさつ

図書館から考える地球環境

館 長 親 川 兼 勇

おめでとうございます。何を学ぶかという目的をもって入学された皆さんが、大学生活を満喫することとお祝い申し上げます。皆さんに対して大学は学習や生活の支援を惜しみません。自身の行動を決定し将来を思考する事を期待いたします。

入学すると講義科目や受講時間帯をある程度自由に決めることができます。つまり自分のカリキュラムを作ることから学生生活は始まることになります。今までの学習態度とは異なるので多少のとまどいがあるかもしれません。そのような時はぜひ図書館を利用して下さい。

大学の中央部に位置し、学生が頻繁に訪れるのが琉球大学附属図書館です。教養書や専門書さらには最新文献が蓄えられ、いわば新しい情報発信の場・智の涵養の場と言えるでしょう。講義が本格的に始

まるまでの過ごし方を知ったり、そこで得た情報を後の学習に役立てたりするためには、早めの時期に来館するのが良いと言えます。約92万冊の蔵書と種々の資料室があるのに加え、データベース化された資料、電子ジャーナルなどが充実しています。またインターネットを利用することで沖縄関連の貴重な資料や電子ジャーナル等論文文献が発行日以前に検索・印刷することができます。特に貴重書については科学研究費公開促進費の交付によりデータベース化されたのでぜひ体験してください。今まで研究者だけしか見る事のできなかったものが、簡単に鮮明な画像で見る事ができます。過去に発行された「びぶりお」では、本図書館の規模や他には無い特徴を紹介していますので情報検索の手始めにぜひ見てほしいところです。

目 次

- 1 館長あいさつ 図書館から考える地球環境
- 3 附属図書館のホームページへアクセスしよう
- 6 琉球大学附属図書館貴重書展
- 7 Web of science 講習会を開催

- 7 駐日欧州委員会代表部からの来館について
- 7 「平成16年度県大図協研修会」修復士による本の補修研修会
- 8 お知らせ

書庫も歩き本をじかに手に取ってみましょう。何気なく読んだ書籍との出会いが将来を拓き、新しい研究を導いたとの話を耳にした事があります。ゆりの時間に書庫の散策をしてみましょう。さらに閲覧室まで足を伸ばしてみることもおすすめします。参考図書室、新着雑誌室など利用する事ができます。そこでは大量の本を一定の温度と湿度とに保つように、室温や気流の状態をわずかに変化させます。皆さんの気に入った勉強場所が季節や時間帯によって居心地が変わるかもしれません。快適な場所を見つけ出して下さい。

みなさんの専門科目が何であろうと環境とエネルギーとの問題は必ず関わってくるでしょう。

地球温暖化の原因の一つと考えられている二酸化炭素などの温室効果ガス。その削減を義務づけた京都議定書が今年発行します。我が国がその行動を主導するのです。それらの多くは化学物質の燃焼により生成されますが、有効なエネルギーとしては使わざるを得ません。しかし環境に配慮して使う時代に来ています。ここで大学や地域で大事に守らなければならない事を考えてみましょう。

皆さんの多くは親元を離れ一人での生活が始まります。さしあたって部屋を借りるでしょう。

部屋にはいつの間にかゴミと不要品とが増えだし、主人であるはずのあなたに取って代わります。

ついにはゴミと不要品との隙間に住む事になるでしょう。梅雨で高温となる沖縄の5月、6月。結露で濡れないための防湿対策が必要になります。6月末から活躍するはずのクーラーがなかなか効かないのは、部屋のゴミを一生懸命に冷やしているからです。その冷却代も電気料として支払っているのです。ゴミの中でも、生ゴミは熱容量が大きいのでなおさらです。部屋の片づけなど、何でもないような事が大事なのです。

昼間の光についても考えてみましょう。窓の向きによっては直射日光が部屋へ入り込む場合があります。それを避けるために窓の内側にブラインドをします。しかし窓を通過していったん入り込んだ直射日光は窓とブラインドとの隙間を温め始め、やがては室内を温めていきます。外からの熱を遮るはずのブラインドはその役目を完全には果たせていま

せん。室内の熱を外気へ逃がさないという活躍をするカーテンも、逆の使用には向いていないようです。

夏、南向きの窓には直射日光はあまり入って来ませんが、それでも窓ガラスの温度は10℃前後高くなります。東や西向きの窓を通しての日射量についても、遮断した場合の3、4倍にもなるので直射日光を遮断する工夫が必要になります。図書館などの公共の建築物にはその工夫がなされています。南向きに建っており、夏に直射日光が入らないように配慮されています。加えて、西に向いた窓は引っ詰められているので直射日光は入り込みません。



図書館には南洋杉が東側に3本、南側に5本あります。その中の1本は3階の高さに届こうとしています。1997年と2001年の「びぶりお」誌には南側と西側の全景写真が載っていますが、杉はそんなに高くありません。7年で随分と高くなっています。図書館の南側にはその外周にデイゴが茂っています。それは一階部分を遮熱してくれそうです。それらが3階の高さにまで育てば、窓からの直射日光を防ぎブラインドを閉めなくても良いようになります。沖縄は台風が多く高い木々が育たないと言われていますが上手い方法を皆さんに期待します。

台風や火災から家屋を守るために木を植えると、強い日差しも木漏れ日のように陽が和らぎ涼しい風が生まれます。高い木々は建物から腕で支えてやれば台風にも耐えてくれそうな気がします。

たとえ実現させる事は無理としてもエネルギーや環境の事をいつも心に留めておくことは、大事に考えている事につながります。

図書館が皆さんの教育・研究を手助けする場であると同時に、これからの問題について、真剣に創造する場でもあることを祈っております。

(おやかわ けんゆう:工学部教授・伝熱促進)

属図書館のホームページへアクセスしよう

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

新入生の皆さん、図書館へようこそ！

ホームページは図書館のもう一つの入口です。

実際に図書館へ足を運ぶ前に、まずはホームページで図書館のことを知ってみてください。

最初に「お知らせ」をチェック

それではさっそく、インターネットで図書館のホームページを表示してみましょう。ホームページアドレスは <http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/> です。lib は library(図書館) の lib です。

まずは左側の「お知らせ」部分です。ここには図書館からのお知らせが随時掲載されます。

利用説明会や展示会の告知、新しいサービスの説明など、利用者の皆さんにぜひ知っていただきたいことが掲載されますので、図書館のホームページを開いたときはまずここを見て、新しいお知らせがないかいつもチェックしてください。

それでは次に下の部分にいきましょう。

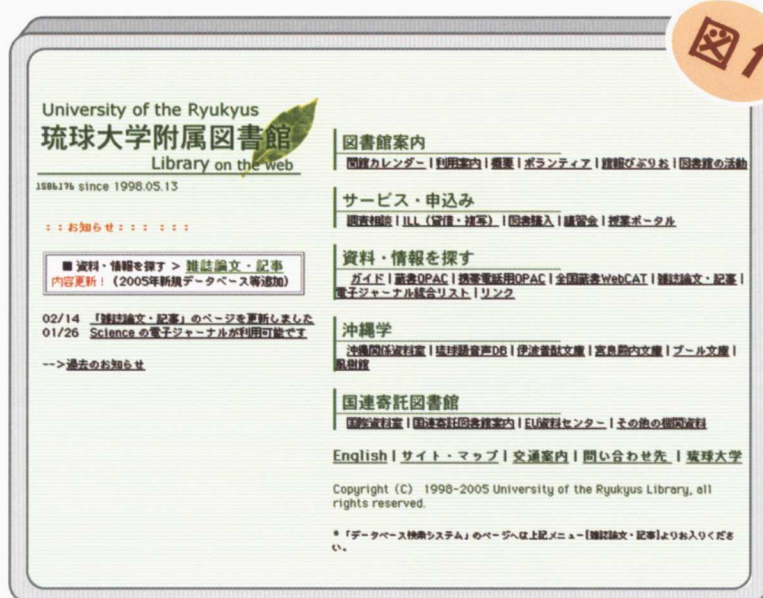


図1

図書館ホームページ トップページ

1

図書館案内

図書館は何時から何時まで開いていますか？

本は何冊まで借りられますか？

カウンターでよく聞かれる質問です。そんなときはこの「図書館案内」の各項目を見てみましょう。「開館カレンダー」で図書館の開館状況をチェック、「利用案内」をクリックして本の借り方・冊数をチェック、「概要」を見れば図書館の利用統計や主なコレクション、フロアガイドも確認することができます。

図書館が発行している読み物（あなたがいま手にしているこの冊子です）である「館報びぶりお」、

図書館にある貴重な資料を利用した各種の研究成果が紹介されている「図書館の活動」など、琉大図書館についていろいろ分かるのがこの「図書館案内」の部分です。

そうそう、「将来は図書館で働いてみたい！」という方はいませんか？それなら図書館ボランティアに参加してみてもいいかもしれません。現在も数名の方がボランティアとして図書館のお仕事を手伝ってくれています。

2

サービス・申込み

図書館にこんな本があったらいいな。

ほかの図書館に探していた本があったけどそれを利用することはできないのかな？

こうした図書館への要望も、今ではインターネットでできるようになりました。わざわざ図書館のカウンターまで来なくてもいいのです。画面上で必要事項を書いて送信してください。後日図書館から「ご希望の資料がご用意できました」と連絡が届くこと

でしょう。

ほかの図書館から資料を取り寄せたいときは「ILL（貸借・複写）」、購入してほしい図書があるときは「図書購入」からリクエストしてください。

図書館では資料の探し方の講習会も随時開催しています。最近では資料を探すための方法もいろいろ増えてきましたが、利用者の皆さん一人一人が自分で資料を探し出せるようになってほしいというのが図書館からの希望です。時間がある時には各種の講習会を受講してみることをおすすめします。（開催予定は図書館のホームページに掲載します。）

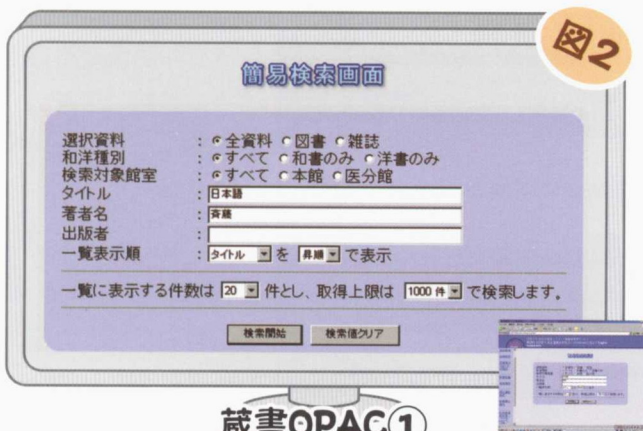
3

資料・情報を探す

〇〇の本が読みたい！

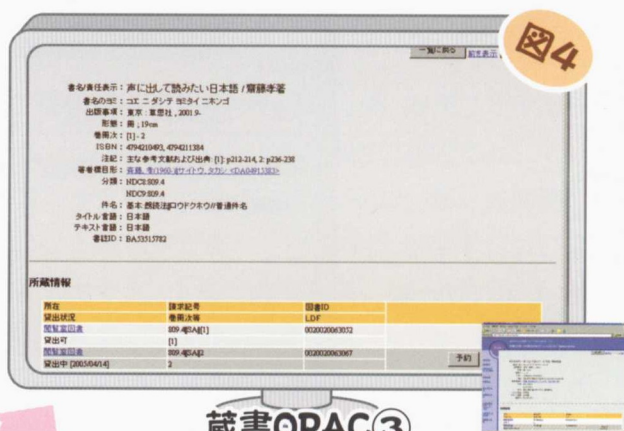
はいはい、検索してみましょう。琉大図書館の資料は「蔵書 OPAC（オーパック）」で検索できます。タイトルや著者名など、自分が持っているキーワー

ドを入力してみましょう。例えば……斉藤孝著『声に出して読みたい日本語』（草思社、2001）はこんなふうにして検索します。



蔵書OPAC①

タイトルに「日本語」、著者名に「斉藤」と入力して検索開始。



蔵書OPAC③

図書詳細情報の画面です。画面下の「所蔵情報」で分類番号（請求記号のところにある数字）と所在を確認しましょう。「閲覧室図書」をクリックすると地図が表示されます。



蔵書OPAC②

検索結果一覧画面です。11件の資料が見つかりました。5番目のタイトルをクリック。



蔵書OPAC④

この本は図書館の3階の部屋（閲覧室）にあります。本は分類番号順に並んでいますのでこの場合は「809.4」の棚を探します。見つかりましたか？

「蔵書 OPAC」は図書館で資料を探すときの基本的なツール(道具)です。まずはこれを使えるようになります。(ちなみにケータイ版 OPAC もあります。)

そんな便利な OPAC ですが、資料によっては OPAC でヒットしない、つまり琉大図書館で手に入らない場合もあります。そんなときはあきらめずに他の大学図書館を検索しましょう。それが「Webcat Plus (ウェブキャット プラス)」です。「Webcat Plus」は日本の大学図書館にある資料を探することができます。さらに図書の場合は目次やあらすじなども確認できるようになっています。書名だけではどういう内容なのか分からないときに便利です。しかも「Webcat Plus」には連想検索というちょっと変わった検索画面も用意されているので、ぜひ試してみてください。

ところで、図書館の資料には本のほかに雑誌というものもあります。雑誌はいくつかの論文が集まって構成されています。例えば「オニヒトデの生態について書かれた論文は？」とか「〇〇地域で行われている祭りの歴史について」などの細かいテーマの場合、本ではなく論文を探す必要があることもあります。

そんなときは「雑誌論文・記事」をクリックして

みましょう。そこにはたくさんの「論文データベース」が紹介されています。医学・自然科学・法律関係等、論文の内容によっていろいろなデータベースがありますので、自分の研究分野にあったデータベースを利用してください。使い方が分からないときは図書館まで聞いてください。データベースの講習会も随時開催しています。

さて、こういった論文は図書館の中で読むのがこれまでのスタイルでしたが、最近ではインターネットの発達により「画面上で論文を読む」という新しいスタイルも登場しています。つまり紙ではなく、電子媒体で雑誌(論文)を読むのです。それが「電子ジャーナル」と呼ばれるものです。電子ジャーナルには「情報が早い」「図書館が閉まっても利用できる」といった利点があり、特に海外の出版社等で盛んに行われています。図書館でも重点的に電子ジャーナルを取り入れていて、現在では4,000タイトル以上の電子ジャーナルを利用することができます。

最後に「リンク集」を用意しています。インターネット上にある便利なページを利用して、自分に必要な情報をたくさん集めていきましょう。

4 沖縄学

琉球大学は昭和25年の開学から現在まで半世紀以上もの歴史があります。大学とともに歩んできた図書館もまた、琉球・沖縄に関する多くの資料を収集してきました。

この「沖縄学」では宮良殿内文庫・ブル文庫・その他の貴重な資料を電子化し、全世界に向けて公開しています。特に「琉球語音声データベース」は現在使える人が少なくなってきたと言われる沖縄方言(うちなーぐち)を肉声で収録した、「聞く方言辞典」として活用できるすばらしいものとなっています。

沖縄をよく知りたい人、沖縄生まれだけど沖縄のことをよく知らなかった人も、図書館が誇る貴重な資料で「沖縄」を勉強してみませんか。

5 国連寄託図書館

図書館にあるのは沖縄関係の資料だけではありませんよ。国連や EU (ヨーロッパ連合)などの国際機関が発行する資料も数多く収集しています。これらの資料を集中的に受け入れている図書館は全国にいくつかありますが、沖縄県内ではここ琉球大学の図書館のみなのです。

レポートや宿題、卒論等で必要になったときはぜひ国際資料も参考にしてください。英語の資料が多いですが、読むことで英語の勉強になるかもしれませんね。

6 困ったときは

留学生の方にはこのホームページの English Site Map があります。

また、図書館までの交通案内、図書館への問い合わせ先、大学公式ホームページへのリンクもあります。

ご質問はお電話やメール、もちろんカウンターでもお受けしています。お気軽にどうぞ。

図書館ホームページはいかがでしたか？

今度は実際に図書館の建物まで足を運んでくださいね。

約92万冊以上の本、数々の雑誌、あらゆる資料があなたのことを待っていますよ。

(ついでに職員も笑顔で待ってます。)

平成
16年度

琉球大学附属
図書館貴重書展

「内と外からみた琉球」

について

琉

球大学附属図書館は平成13年度から毎年、資料の公開及び地域貢献・地域連携の一環として所蔵する貴重書の学外展示会を行っており、これまで平成13年度に那覇市リウボウホール（文献にみる沖縄の歴史と風土、2002年2月）、平成14年度に同じくリウボウホール（史料が語る琉球、2003年2月）、平成15年度は初めて県内公共図書館との連携となる名護市立図書館（史料が語る琉球、2003年11月）で開催してきました。

平成16年度は、2004年11月16日（火）から21日（日）までの5日間（18日は休館）、西原町立図書館と連携して開催しました。西原町立図書館は、この年の8月にオープンした、ICタグ利用や自動書庫を設置した新しい図書館です。同図書館ではこの展示会を開館記念事業として位置づけ、展示会場や展示ケースの提供、町広報誌での宣伝等多様な協力を頂きました。

これまでの展示会は展示委員会の図書館職員が中心となって進めてきましたが、平成16年度から研究開発室に貴重書の公開（貴重書展の企画）班を設置して、学内の教員に室員になって貰うと同時に展示委員として参加していただき研究開発室を中心に活動することになりました。その研究開発室の第1回の企画展にあたるのが今回の展示会です。室員は下記の4名の方々です。

池宮正治教授（法文学部）、上里賢一教授（〃）、高良倉吉教授（〃）、豊見山和行教授（教育学部）（平成17年4月から法文学部の赤嶺守教授が加わります。）

室員の先生方には、展示会テーマの検討、展示史料の選定、解説文の執筆、展示会でのマスコミ対応等を担当して頂きました。

今回の展示会テーマ「内と外からみた琉球」に沿って選定した史料は下記の通りです。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 遺老説伝（伊波普猷文庫） | 19. 異本王代記（島袋源七文庫） |
| 2. 仲吉本『おもろさうし』（伊波普猷文庫） | 20. 那覇由来記（伊波普猷文庫） |
| 3. 浦添家本『伊勢物語』（島袋源七文庫） | 21. 沖縄県下各町村字並屋取調（島袋源七文庫） |
| 4. 大島筆記（伊波普猷文庫） | 22. 南島紀事 |
| 5. 定西法師琉球物語（伊波普猷文庫） | 23. 沖縄志 |
| 6. 琉球神道記（仲原善忠文庫） | 24. 南島雑話（伊波普猷文庫） |
| 7. 薩琉軍談 | 25. 中山物産考 |
| 8. 古波蔵親方御手跡（宮良殿内文庫） | 26. 漢文集（宮良殿内文庫） |
| 9. 断片綴（針竿関係）（島袋源七文庫） | 27. 琉球版大学（大学章句） |
| 10. 書付集（島袋源七文庫） | 28. 琉球版論語（論語集註） |
| 11. 山野畑地割帳（島袋源七文庫） | 29. 重鐫 中山詩文集 程順則編 |
| 12. 諸抱護諸木植付日記（島袋源七文庫） | 30. 琉球解語 |
| 13. 証文綴（島袋源七文庫） | 31. 輿地図 |
| 14. 仕明地調綴（島袋源七文庫） | 32. 朝鮮琉球全図 |
| 15. 仕明請地帳（島袋源七文庫） | 33. 琉球風俗図 |
| 16. 年頭御使者日記より抜書（島袋源七文庫） | 34. 鳥賞案子 |
| 17. 漂着唐人の要望書（宮良殿内文庫） | 35. 周煌の掛板 |
| 18. 質問本草 | |

この他、E・R・プールが撮影した大正期沖縄のガラス版写真（パネル展示）、伊波普猷・東恩納寛惇・仲原善忠・真境名安興、比春春潮など沖縄学研究者のパネル写真、西原町出身の比嘉春潮著作本の展示、インターネットを通して附属図書館が作成した沖縄関係電子化資料を閲覧するためのパソコンの設置、琉球大学の歴史を記録したビデオを上映しました。

展示会の模様は、テレビや新聞にも紹介され、展示期間中、千名を超える市民が訪れ、琉球の島々の内側からの内発的側面と外部との交流による側面の両面が融合した歴史・文化を示す生の史料を熱心に見学し、沖縄の歴史・文化の貴重な資料を見ることができたと喜び声をアンケートで寄せる方が多くいました。

（松原 敏夫・図書館専門員）



Web of Science 講習会を開催

～引用文献検索機能を持つ論文データベース～

附属図書館では1月20日(木)と21日(金)の2日間、Web of Science 講習会を開催しました。Web of Scienceは ISI 社が提供する3種の引用文献データベース (Science Citation Index Expanded, Social Science Citation Index, Arts & Humanities Citation Index) を統合したものです。

全学術分野を対象に検索でき、論文単位での引用・被引用関係を調べることができます。

今回は2日間で6回の講習会を開催し、琉大以外からの参加も含め多数の参加者がありました。Web of Science の講習会は毎年恒例となっており次年度も開催を予定しています。また、ご要望があれば学科やゼミ単位での講習も可能で、専門分野に合わせて講習内容を構成いたします。次回、学科やゼミ単位での Web of Science 講習会をご希望される場合は、附属図書館電子情報係 (内線8167) までご連絡ください。



駐日欧州委員会代表部からの 来館について

1月27日(木)琉球大学附属図書館 EDC (EU Documentation Center)へ駐日欧州委員会代表部の Mrs. Anne Kofoed 広報部次長が来館され、館長及び法文学部ヨーロッパ文化教員と琉大 EU センターの運営についての話し合いをしました。その中で Mrs. Anne Kofoed 広報部次長から、今後とも、EU 資料をより活用していただくために学内の利用者はもとより、地域一般利用者の方々へも琉球大学に EDC (EU Documentation Center) が設置されていることを知っていただき、EU についての知識を多くの人に広めていただきたいとの依頼がありました。そのあと引き続き、EU センターの資料のサービス体制と整備状況について現状をご覧になりました。

琉球大学図書館は、1985年11月に EC (当時) 資料センターの指定を受け、3階国際資料室において EU 関係の資料を収集し、沖縄地区全体の研究者や一般利用者へのサービス(一般公開)を行っています。



「平成16年度県大図協研修会」 修復士による本の補修研修会

平成16年度沖縄県大学図書館協議会研修会「無線綴じ本の簡易製本の作り方」を12月9日、琉球大学附属図書館にて開催しました。沖縄県文化振興会修復士大濠ゆかり氏を講師としてお招きし、糊だけで製本され背の破損しやすい無線綴じ本を糸で簡易製本し直す方法やページ破れの補修の方法について実習しました。本の補修に必要な道具や技術だけではなく、本の構造や保存に関する専門知識を学ぶ入り口にもなり、有意義な研修となりました。すぐに現場で役立つことから、受講者24名は熱心に取り組み、アンケートには「戻ったら早速製本してみます」「持ち帰って復習をかねて他の職員にも広めたい」「古い本への愛情を感じ取る研修でした」などの感想が寄せられました。沖縄県大学図書館協議会は、県内8大学1高専で構成されており、今年度より定期的に研修会を開催する予定です。



お知らせ Information

2005年度 開館カレンダー

● 本 館

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

● 医分館

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間 黒 (Black) 8:30~22:00

緑 (Green) 13:00~20:00
(医分館は13:00~18:00)

青 (Blue) 8:30~17:00

赤 (Red) 休館 (Close)

本館だより

第248回 附属図書館運営委員会録

平成17年3月7日

○協議事項

1. 委員会の見直しについて
2. 琉球大学附属図書館学術情報基盤資料選定委員会内規 (仮称) (案)について
3. 琉球大学附属図書館研究開発室員の推薦について

○報告事項

1. 附属図書館運営委員会委員の交代について

新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。充実した大学生活をおくるために、図書館の活用法をガイドしますのでご参加ください。

開催日	4月15日(金)~22日(金)の毎日(土・日を除く)
開催時間	15:00~16:00
集合場所	本館1階 多目的ホール
内 容	図書館施設の案内 蔵書検索OPAC、ホームページの利用

問い合わせ先 | 電子情報係 (tel: 098-895-8167)

図書館報『びぶりお』の年間発行回数の変更について

これまで年3回発行してありましたが、2005年度より、年2回(4月1日、10月1日)に発行回数を変更することになりました。今後とも一層の充実を図っていききたいと思いますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(びぶりお編集委員会)

琉球大学附属図書館報「びぶりお」第38巻第3号(通巻第142号) 発行日:2005年(平成17年)4月1日

発行:琉球大学附属図書館 編集:びぶりお編集委員会

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL:098-895-8168 E-mail:referen@lib.u-ryukyu.ac.jp